



ORCA: Online Receipt Computer Advantage

日本医師会ORCA管理機構について (ORCAMO)

2024年6月
日本医師会ORCA管理機構（株）



会社概要

日本医師会が推進してきたORCAプロジェクトを引き継ぎ、時代の潮流に合わせた医療・介護ICTの高度化を推進している

会社概要

- 社名 日本医師会ORCA管理機構株式会社
- 本社所在地 東京都文京区本駒込六丁目1番21号 コロナ社第3ビル6階
- 設立 2015年12月
- 従業員数 24名
- 株主 (公社)日本医師会・フューチャーインベストメント(株)・(株)ソラスト・H.U.グループホールディングス(株)・東京海上日動火災保険(株)・TOPPANホールディングス(株)
- 役員等
 - 代表取締役会長 角田 徹 (日本医師会副会長)
 - 代表取締役社長 露口 泰介
 - 取締役 黒瀬 巖 (日本医師会常任理事)
 - 取締役(副社長) 上野 智明
 - 取締役 福田 知弘
 - 取締役 岩本 光司
 - 監査役 手嶋 弘一
- 事業内容 日レセを中心とした医療・介護システムやサービスの企画・開発、提供
- 関連会社 ICI株式会社 (次世代医療基盤法 認定医療情報等取扱受託事業者)



ORCA管理機構（ORCAMO）設立にいたるプロセスのご説明

「日本医師会ORCA管理機構の設立と現状」

日本医師会のORCA（Online Receipt Computer Advantage）事業は、メインコンテンツである「日医標準レセプトソフト（日レセ）」を、医療機関の医療費の計算をする基幹システムとして、患者台帳を管理する共通仕様の基盤として、当時のEBMを目指した礎として、デファクトスタンダードを目指しオープンソースで公開することで始まりました。

日本医師会ORCA管理機構株式会社（ORCAMO）は、これまで公益法人の範疇で行われていたORCA事業を継続し、さらに発展させるために日本医師会が外部に設立した事業体です。このORCA事業の外部化については、政府系ファンドの“地域経済活性化支援機構（REVIC）”の協力により実現しました。2022年5月にREVICはORCA事業を支えたファンドの役目を終え、現在は、日本医師会を筆頭とする他5社の協力による体制に変わりました。

おかげさまで「日レセ」は先生方の支持を得て着実に普及を続けており、現在約19,000弱の医療機関で利用されています。レセプトコンピュータの市場では国内第2位のシェアを占めており、50を超える電子カルテのレセプト請求にも使われています。

ORCA事業のあゆみ（日レセ関連）

2000年 日医総研の研究事業としてORCAプロジェクト開始
2001年 「日医IT化宣言」
2002年 日医標準レセプトソフト公開
2011年 ユーザー施設数10,000達成
2015年 日本医師会ORCA管理機構(株)設立
2016年 「日医IT化宣言2016」
2019年 一部機能有償化
2022年 ユーザー施設数約18,000




ORCAMO株主一覧

公益社団法人 日本医師会
フューチャーインベストメント株式会社
株式会社ソラスト
H.U.グループホールディングス株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
TOPPANホールディングス株式会社

プロダクト

レセ機能のクラウドサービスを中心として、APIやオンプレソフトウェアの提供及び医療ICT関連情報やe-ラーニング等の各種サービスを提供している

プロダクトマップ

分類	医療機関	介護事業者	メーカー／ベンダー	医療従事者 及び関連従事者
クラウドサービス	日レセ（WebORCA クラウド版） 			
	WebQKAN（介護請求） 			
	日特クラウド			
	薬剤在庫管理			
ソフトウェア	日レセ（WebORCA オンプレ版） 		日レセAPI （API協議会） （電子カルテ認定制度）	医見書
	給管鳥／訪看鳥			
	文書作成／交換ソフト			文書作成／交換ソフト
	DiedAi			
各種サービス	キャッシュレスサービス		日医IT認定事業	e-ラーニング講座
	オペレーター デリバリーサービス			

ORCA事業のビジョン

ORCAを中心に、日本のヘルスケアシステム基盤を支えるインフラ企業として、各種システム・サービスを提供することをミッションに掲げる

Vision／Mission

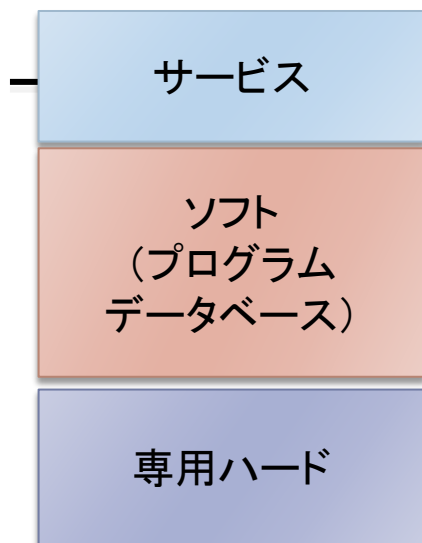
<Vision>

日本のヘルスケアシステム基盤を支えるインフラ企業となる

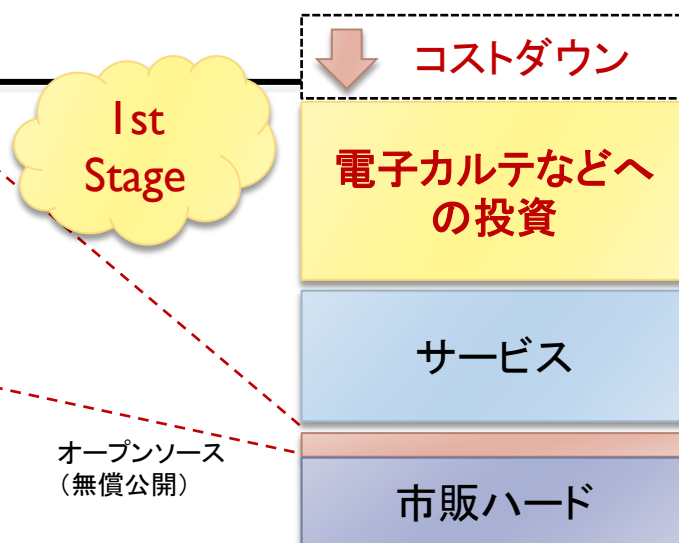
<Mission>

あまねく医療・介護施設に対し、どこからでも安心して使える保険請求処理を中核としたシステム及びサービス（通称：ORCA）を提供する

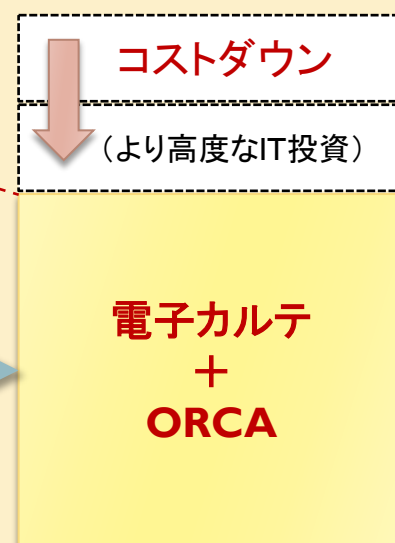
従来レセコン医療機関



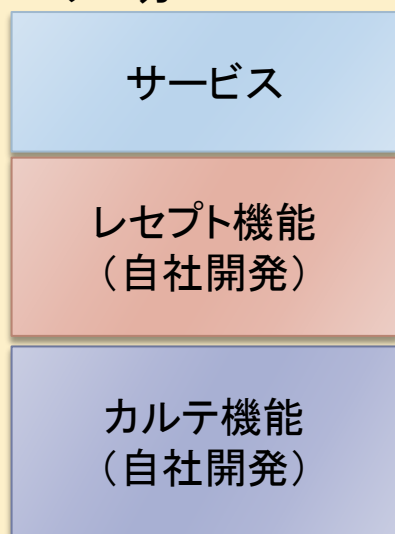
ORCA医療機関



ORCA医療機関



従来電子カルテメーカー



ORCA採用電子カルテメーカー



ORCA 2nd Stage

医療機関のIT化とコスト削減をさらに支援

⇒ 既に実現
(安価なWeb型カルテの台頭)

連携電子カルテ群

<https://www.orcamo.co.jp/products/orca/linkage.html>

【連携する電子カルテ製品】

全数53件（2024.1.31現在）
 無床診療所対応 43件
 有床診療所対応 21件
 （無床診療所対応含む）
 病院対応 18件
 （無床+有床診療所対応含む）

 <p>タック電子カルテシステムDr.F</p> <p>同僚間連携と不評治療の両サポート。 産婦人科に特化した機能が満載。</p> <p>タック株式会社</p>	 <p>セコム・ユビキタス電子カルテ</p> <p>在宅から病棟診療まで対応のクラウド型電子カルテ</p> <p>セコム医療システム株式会社</p>	 <p>電子カルテ Dr.CREDO [ドクタークレド]</p> <p>私たちは人とメディカルのあいだに ITによる掛け橋を築きます。</p> <p>株式会社クレドメディカ</p>	 <p>セコム OWE L</p> <p>シンプルさと必要十分な機能を持ち 合わせたクラウド型電子カルテ</p> <p>セコム医療システム株式会社</p>
 <p>産科婦人科電子カルテ『fカルテット』</p> <p>産婦人科医と共に開発された産婦人科専用の電子カルテです。</p> <p>株式会社ニューウェーブ</p>	 <p>眼科専用 クラウド電子カルテ CLIPLA Eye クリプライ</p> <p>検査機器データと自動連携！複数人で利用できる カルテ同時アクセス機能も搭載</p> <p>株式会社クリプ</p>	 <p>Macで動く電子カルテシステム『WINE STYLE』</p> <p>Macで動く電子カルテの定番『WINE STYLE』</p> <p>株式会社ノーザ</p>	 <p>m-WAVE2.0</p> <p>超高速データベース搭載！災害に強い 金データ対応型システム！</p> <p>株式会社デジタル・オフィス</p>
 <p>Dr. Pen Lite スタートパック</p> <p>使いやすい電子カルテです！所見の記入は、ペンでもキーボードでも可能です。</p> <p>株式会社ヤマダデンキ</p>	 <p>クラウド型電子カルテ『CLIOUS (クリアス)』</p> <p>無料トライアルですぐに操作感を試いただけます。 使いやすいさを追求した最新の電子カルテ。</p> <p>株式会社 Donuts</p>	 <p>クラウド型電子カルテサービス『医歩ippo』</p> <p>安全な環境・情報共有連携・診療所・小病院に業務生産性を高める電子カルテ</p> <p>メディカルアイ株式会社</p>	 <p>糖尿病専門クリニック向け電子カルテ『DMエキスパート』</p> <p>糖尿病診療の特殊性に合った機能を搭載！チーム医療を支援します</p> <p>アークレイマーケティング株式会社</p>
 <p>産婦人科向けクラウド電子カルテ CLIPLA Luna</p> <p>産婦人科用機能を備えていても低コストなクラウド型！紹介状/月健カードも簡単に作成。『ルナルナ』と連携</p> <p>株式会社クリプ</p>	 <p>無料のクラウド型電子カルテ『きりゅカルテ』</p> <p>「紙カルテの書き心地」を実現したクラウド型電子カルテ。 在宅診療にも対応</p> <p>ウィーメックス株式会社</p>	 <p>Dr.電カル</p> <p>シンプル画面と操作で低価格！お気軽に無料出張デモを御活用ください。</p> <p>株式会社メディックワーク</p>	 <p>クリニック向けクラウド型電子カルテ『Hi-SEED Cloud』</p> <p>安心安全な電子カルテ。クラウドサーバ監視や備忘録のカルテ参照機能に対応。</p> <p>ウィーメックスヘルスケアシステムズ株式会社</p>

日医標準レセプトAPI協議会

日レセに繋がる周辺システムの拡大・連携の強化を企図し、API協議会を運営。電子カルテメーカーを中心に149社が参加

日医標準レセプトAPI協議会

[お問い合わせ](#)



日医標準レセプトAPI協議会について

本会は、日医標準レセプトAPIを使用した電子カルテシステムを初めとする安価な医療情報システムの普及推進を図る為、広く医療情報システム関連開発者を募り、当該APIのより深い理解と、活用例の共有等、参加各社が導入しやすい環境を提供することで、当該APIの導入を支援することを目的とします。

登録社数

149社

2023年10月現在

[会員ログイン](#)

[新規入会申請](#)

電子カルテのセキュリティ認定

API協議会からの発展系として、情報セキュリティ基準やガイドライン準拠等を審査し、安全安心な電子カルテであることを認定する制度をスタート



MehISaa ORCAMO保険医療福祉情報セキュリティ認定局
Medical and Healthcare Information Security ORCAMO Authentication Authority

～安心安全な電子カルテを世に広めるために～

昨今の電子カルテの導入率の増大やクラウドサービス需要の高まり、医療情報の取扱いの関心が高まり、情報セキュリティ基準に対応しているかということが重要になってきております。

製品やサービスを利用する医療機関では、ITやガイドラインに精通した方が不在であるため、提供される製品やサービスにおいて、安全・安心なシステムであるのかを判断することは難しいです。

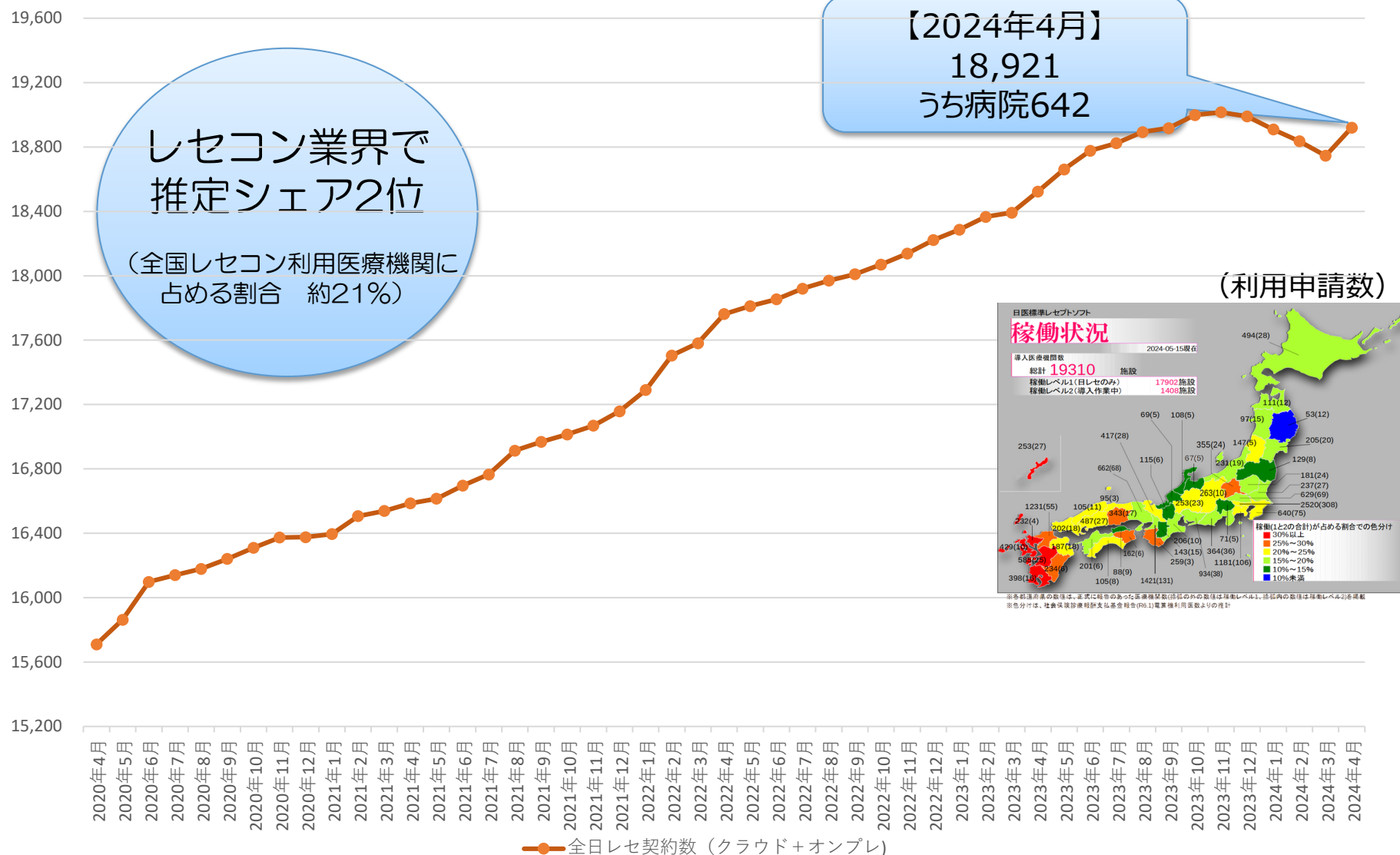
そこで、医療機関に代わって安全安心な電子カルテであることを審査し、認定を行います。

認定された製品およびサービスであれば安心して利用していただくことができます。

認定製品

認定番号	メーカー	製品名称 製品バージョン	電子カルテ提供方法	取得日
OMK2003001-02	ウィーメックスヘルスケアシステムズ株式会社	Hi-SEED Cloud Ver.01.28以降 	クラウド型電子カルテ	2021-03-01
OMK2112002-01	株式会社Donuts	CLIUS Web版 Ver.1 	クラウド型電子カルテ	2023-07-01
OMK2401003-01	システムロード株式会社	RACCO統合医療情報システム Version6 	オンプレミス型電子カルテ	2024-05-01

日医標準レセプトソフト「契約数」ご報告（オンプレミス+クラウド）



(参考資料)

日医IT化宣言 (2001.11.20)

於 東京プリンスホテル

日本医師会は、医療現場のIT化(情報技術)を進めるため、土台となるネットワークづくりを行うことを宣言します。まず、各医療現場に標準化されたオンライン診療レセプトシステムを導入し、互換性のある医療情報をやりとりできるようにする計画(ORCA, Online Receipt Computer Advantage)を推進します。この計画のために日医が開発したプログラムやデータベースは全て無償で公開されます。医療現場の事務作業の効率化を図り、コストを軽減させると同時に、誰もが自由に利用できる開放的なネットワークを形成し、国民に高度で良質な医療を提供することをめざします。

日医IT化宣言2016

ORCAプロジェクト推進をメインとした日医IT化宣言（H.13年）に代わり、今後の日医の医療分野のIT化における取り組みの指針として、H.28年6月に公表



- 日本医師会は、安全なネットワークを構築するとともに、個人のプライバシーを守ります。
- 日本医師会は、医療の質の向上と安全の確保をITで支えます。
- 日本医師会は、国民皆保険をITで支えます。
- 日本医師会は、地域医療連携・多職種連携をITで支えます。
- 日本医師会は、電子化された医療情報を電子認証技術で守ります。